

第 39 回 日本診療放射線技師学会大会参加報告

柏葉脳神経外科病院 先端医療研究センター 平野 透

第 39 回 日本診療放射線技師学会大会参加報告が 2023 年 9 月 29 日から 10 月 1 日の三日間、熊本で開催されました。そこで私が学会大会で参加したセッション等について報告致します。

一般演題 (X 線 CT)

初日午後に開催された CT 関連の一般演題の座長として 6 演題を聴講しました。6 演題中 3 演題がキヤノン社製の CT を用いた学術研究と報告がありました。また 3 演題とも AiCE (Advanced intelligent Clear-IQ Engine) 関連で、低管電圧と AiCE と非剛体サブトラクションなどの併用で従来 120kVp 撮影時に設定していた造影剤量の減量の可能性についてや頭部 3D-CTA 時に AiCE を用いた場合での血管描出に関する研究などが発表されてきました。現在脳神経外科病院に勤務しているので頭部 3D-CTA 時の使用する再構成関数に関しては興味深く拝聴していました。日本診療放射線技師会も今年度より発表に関する倫理規定が以前より厳密化されており、倫理申請が必要な臨床研究と倫理申請が不要な臨床での業務改善や創意工夫などは報告と発表区分が区別され、それらが同じセッションで発表されているため、聴講者が発表区分により質問のレベルを変える必要などあり、今後発表区分を考慮したセッションなどもしてもらおうと良いかと思いました。診療放射線技師学会大会は日本放射線技術学会と違い業務改善や創意工夫などより現場の問題点などの改善を報告できる大会であり、現在は若干発表区分などで戸惑うこともありますが、日頃の業務で改善した事など発表することをお勧めしたいと思います。

ハンズオンセミナー (画像等手術支援分科会主催)

日本診療放射線技師会内の委員会の 1 つである画像等手術支援分科会では毎回学会大会時に初級者から中級者向けの三次元画像作成に対するハンズオンセミナーを開催しています。今回の熊本では午前中に三次元画像作成を始めたばかりの方対象とした大血管 (大動脈) につい

と、午後に少し画像作成を経験してきている方対象として脳血管（脳動脈瘤）について手術支援画像作成を実機を用いてハンズオンセミナーを開催しました。三次元ワークステーションの台数にも制限はありますが、受講者は予約で午前・午後も満席で更に多くの聴講者の方にもハンズオンの講師による画像作成の方法や Tips を勉強して頂きました。ハンズオン受講者には毎年参加されている技師会会員がおり、年々画像作成のスキルが上がっているのを私も他のスタッフも感じていて、このセミナーが手術支援画像作成技術の向上に役に立っていることを今年はより実感した大会となりました。

シンポジウム（画像等手術支援分科会主催）

画像等手術支援分科会では「良好な三次元画像の手術への貢献について」というテーマで膵臓領域の手術のために解剖、術式の理解、必要な画像、更に画像作成のコツなどを前半講演して頂き、後半は大腸の三次元画像作成に関して2施設から異なるワークステーションを使用した画像作成法を実際に実機で処理している様子を動画にして頂き、その動画を用いながら作成方法を解説して頂く分科会初の試みでの講演をして頂きました。前半の膵臓領域に関しては膵臓がんの術式が複雑になり、そのために術式によっての必要な血管解剖や手術支援画像の表示の仕方などを詳細に解説は分科会の Web 講習会では時間の関係から伝える事が難しいため、大変参考になったのではないかと考えています。また AiCE などの再構成を有効に使用した造影効果を高めるための面白い工夫なども話しており、CANON ユーザーには役に立つ内容も含まれていました。後半の発表に実機で処理している様子を動画で再生しながらの講演の方は、施設によって同じ領域でもその施設での外科医の求める画像の種類や画像作成に関わる時間的な制約など様々な要因によって、表示する画像の種類や撮影方法が大きく異なっていると今回の講演して頂いた2施設の発表を聞いて感じました。また異なるワークステーションでは予想通り処理や血管抽出の精度などが異なっているのも動画を使用したプレゼンテーションを行ったことで聴講されている方にも感じて頂けたと思っております。

9月下旬の学術大会で北海道では長袖や薄い上着でちょうど良い気温ですが、熊本は学術大会期間中毎日30度超えの真夏日でした。大会会場内も外も暑い三日間でした。来年は沖縄なのでまた暑い学会となると思います。



ハンズオンセミナーの風景

セミナー受講者の皆さん、一生懸命操作していました。



スタッフやセミナー参加者との
記念写真風景

一般参加者も多く参加され盛況な大会となりました。